

地域の力を感じるとき

学校運営委員会通信

世田谷区立給田小学校

もちつき会・千歳民俗資料保存会

12月9日（土）、雲ひとつない青空の下、給田小校庭で千歳民俗資料保存会と給田小PTA共催による「もちつき会」が開催されました。



子どもたちのために集まってくれたみなさまにご挨拶する猪刈恵美子校長先生（中央）と保存会会長杉田和明さん（右）、保存会副会長清水啓子さん（左）。



ボイラーの調整をし、もち米を蒸してくださっているのは、（左から）伊藤弘康さん、高橋哲也さん、森田慎一さん。



平成29年度 第7号
平成30年2月1日
世田谷区立給田小学校
学校運営委員会
委員長 若林 みどり

前日から楽しみにしていた子どもたちは、何段にも重なった大きなセイロから立ち上る蒸氣や、ほのかに香るもち米を蒸した匂いに目を輝かせ、足早に教室に向かっていきます。

保存会副会長の清水啓子さんの解説を聞きながら、1年生から順位を競りました。

「かけづき」とは、昔から給田地域に伝わるおもひのつき方で、



かけづきに挑戦する先生たち

通常もちは一人でつきますが、「かけづき」は4人でつきます。反時計回りにリズミカルにつくと、臼の中でもちが自然に回り、まんべんなくつくことができます。最後に大きな杵で仕上げの「あげづき」をします。「あげづき」は、つき手と返し手の息を合わせるの

が重要です。

11月9日（木）、グリーン・サポーターズのみなさんが、学校になつた柿を使って毎年恒例の、「干し柿作り」を行いました。

一つひとつ皮をむき、紐にくくりつけた後、しっかりと熱湯消毒を行い、重ならない様に古民家の廊下の天井に吊るしました。

古民家の風景として刻まれたことでしょう。



保存会とPTAの係のみなさんによって、あつという間に「磯辺巻き」と「きなこもち」になつて子どもたちの待つ教室に届

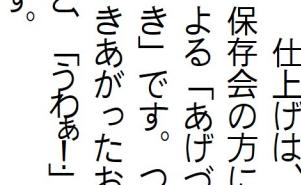


PTA係のみなさん

たくさんの地域のみなさんの温かさが感じられる「もちつき会」になりました。



あげづき



「見て、見て！こーんなにのびるよ！」つきたてのおもちに大喜びの子どもたち。

んがついた後は、担任の先生がたの番です。手拍子とともに「子どもたちの「はい！はい！はい！」はよ！」「うかけ声もより一層大きい！」と、うかけ声もより一層大きくなり、一生懸命応援します。



保存会の方にもちを見せてもらひとと歓声が上がります。

「おうちで食べるおもちと全然ちがう！」「柔らかくておいしい」「おいしいからゆっくり味わって食べよう」教室のあちらこちらにおいしそうに食べている姿がたくさん見られました。



地域の伝統に触れるだけでなく、たくさん地域のみなさんの温かさを感じられる「もちつき会」になりました。



今年で9回目を迎える給田小サマースクール。毎回、多くの子どもたちが参加していますが、昨年は残念ながら実行ボランティアが集まらず、開催することができませんでした。

「サマースクールを終わらせたくない！」そんな強い想いをもつて集まつてくださった実行ボランティアの方たちのおかげで、今年もたくさんの講座を開くことができました。

講師の方とボランティアのみなさんからアンケートに「ただいた感想と講座の様子を合わせて紹介いたします。



化石のレプリカのキーホルダーをつくろう

化石のレプリカのキーホルダーをつくろう



ペーパークリーリングで箱をデコレーション

ペーパークリーリングで箱をデコレーション

・低学年の子どもたちの素直さ、熱心さがかわいらしかったです。自分のこだわりや、工夫が見られ、これからそういう面が伸びていってほしいと思いました。
(保護者)

(中学生)

ない子でも笑顔で「できたよ」と言ってくれて、私も楽しくできました。(保護者)

復活！サマースクールin2017

・いつもと違うプールの使い方をしてみての子どもたちの日の輝き、ボランティアさんたちの意識の高さがとても印象的でした。(講師)



クロールの基本とダンスタイミング

・自分から子どもたちに話しかけていくと、心を開いてくれるのが実感でき、最終的にはかなり仲良くなれて楽しかった。
(中学生)

英語で100K-100



おうちでも簡単にパンを焼こう！

おうちでも簡単にパンを焼こう！

・高学年の子が低学年の子たちを優しくフォローしている姿を見て、「給田の子どもたちは優しいな」とうれしい気持ちになりました。
(保護者)

・ミニチュアカフェを作りました。子どもたちのそれぞの個性が表れていて素敵でした。小学生も話しかけてくれて嬉しかったです。
(中学生)

われた」とがすぐに直つて「く」ところにすり切れを感じました。(中学生)

ミニチュアカフェを作ろう

・子どもたちの個性が表れていて素敵でした。小学生も話しかけてくれて嬉しかったです。
(中学生)



グルーデコでキラキラリングを作ろう

・最初は小学生とのふれあいに不安を感じていましたが、小学生は明るく、こっちが元気をもらひつことができました。（中学生）
（講師）

・・・
・プレゼント用に作っている子が多く、誰かの喜ぶ顔を思い浮かべながら取り組む姿を見て、嬉しくなりました。（講師）



身近な物を鉛筆で描いてみよう

講座と講師のみなさん

敬称略

- ・英語でcooking（2講座）

輿淑子（英語講師）
- ・ミニチュアカフェを作ろう

山路智子（卒業生保護者）
- ・クロールの基本とダンススイミング

不破央（地域）
- ・ペーパークリーリングで箱をデコレーション

菊地七夢（卒業生保護者）
小野崎佳子（卒業生保護者）
- ・おうちでも簡単にパンを焼こう！

安部亜由美（保護者）
- ・グルーデコでキラキラリングを作ろう！（2講座）
- ・グルーデコでキーholderを作ろう！（2講座）

若林みどり（卒業生保護者）
- ・化石のレプリカのキーholderをつくろう（2講座）
- ・ペットボトルで口ケットを飛ばそう！

柴田早苗（卒業生保護者）
- ・ナンを焼いてカレーを食べよう！

巖樋敦子（卒業生保護者）
- ・身近な物を鉛筆で描いてみよう

中川景子（保護者）



ナンを焼いてカレーを食べよう！



ペットボトルで口ケットを飛ばそう！

ペットボトルで
ロケットを飛ばそう！

・カッターを使つたりと難しい部分や子どもたちができないところを中学生ボランティアの子どもたちがやさしくフォローしている姿を見て感心しました。4・5年生の子どもたちとのふれあいは初めてでしたが素直でとてもかわいかったです。ロケットが飛んだ時の笑顔がとても良かつたです。（保護者）

給田小のサマースクールは、子どもたちが学校の教職員や家族以外の大人とふれあうことによって、多くのことを経験し、より豊かな人間関係をつくっていくことを目指しています。それは、子どもたちにとって身近な地域の方や保護者の方が講師をしてくださること、そしてまた、それを支えてくださる地域の方、保護者の方、そして、子どもたちにとってもっと身近な卒業生であることによつて支えられています。

みなさんに声をかけていただきたくさん褒めていただいた経験は、子どもたちの自信となり、新たなことにチャレンジする勇気の糧となります。

今年度も、たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。



1月22日（土）、天気にも恵まれ、2年ぶりに「わくわくフェスティバル」を開催することができました。みなさま、地域のみなさま、保護者のみなさまには大変お世話になりました。

みなさまの「協力なしでは開催できなかつたと思います。

昨年わくわくフェスティバルが開催されなかつた」ともあり、本年度は児童からも「楽しみにしている」という声を多く聞いていました。

「児童の喜ぶ顔が見たい！」

今回わくわくフェスティバルに関わつてくださつたみなさまの思いが実り、アンケートでも多くの児童から「楽しかった」との回答をもらつことができました。

また、8割以上の児童から、「来年もあるといいな」との回答をいたしました。

その際は、みなさまの「協力よろしくお願ひいたします。

来年度も開催できるよう引き継いでいけたらと思っています。

わくわくフェスティバル実行委員会
委員長 石塚 翠絵



55周年開校ロング集会



10月17日（火）、給田小創立55周年を記念して、児童集会「55周年開校ロング集会」が行われました。

ゲストに卒業生の杉田和明さん（第13回）、田中龍次さん（第2回）、水然さん（第43回）をお迎えし、昔の給田小の様子を教えていた田中さんから話を聞きました。

6年生と一緒にトランペットを吹く田中さん



給田町会大運動会



今年も10月9日（月）体育の日に、給田小の校庭で「第67回給田町会大運動会」が開催されました。よちよち歩きのちいさな子から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、たくさん的人が集まり、なごやかに競技が進んでいきます。

校庭には、卒業生や転校したお友だ

ち、異動した先生の顔も見られ、運動会はちょっとした同窓会のようです。家族と友達と世代を超えてスポーツを楽しめる町会運動会。この先もずっと続いてほしい、町会の行事のひとつです。給田町会はじめ、「」尽力くださつたみなさま、ありがとうございました。

「学校運営委員会通信」に掲載されています。「学校運営委員会通信（議事録号）」を「観る」なりたい方は

副校長まで「連絡ください」。